

リグリマ・ジャパン

バングラデシュ少数民族ガロの女性たちの生活支援と自立をめざす活動を、現地のキリスト者のグループ「リグリマ・バングラデシュ」と共に支援する。
支援額 35 万円



エルサレム教区

聖地ろうあ子どもの里 HLID

聖公会中東エルサレム教区が宣教活動のために設立したヨルダンにある教育施設。政治的、経済的に厳しい状況にある周辺地域の国々から集まろうああと視覚との重複障がいを持つ子どもたちへの教育と職業訓練を行う。
シリア難民キャンプでの支援も継続中。
支援額 20 万円



サイディア・フラハ

ケニアの児童福祉施設及び教育プロジェクト。特に子どもと女性たちのために活動する NGO 団体。極度の貧困から養育を放棄された幼児や、親と死別し預けられた先で労働力としてしか扱ってもらえない子どもたちを保護し教育。就労の機会に恵まれない若い女性たちの裁縫教室などへの支援。
支援額 35 万円



2023 年度 感謝箱献金

お献げ先のご紹介

ムクウェゲ医師の 社会啓発活動の支援

長年にわたり、同医師の活動を支援し続けている RITA-Congo を通して、紛争地であるコンゴ民主共和国東部の女性や子どもを性暴力から守る活動。
支援額 20 万円

特定非営利活動法人

RITA-Congo

旧コンゴの性暴力と紛争を考える会
(ASVCC)



地域支援団体 釜石センター望 東北教区

東日本大震災時、日本聖公会釜石支援センターの活動後に設立された任意支援団体。震災後の地域コミュニティ作りを中心に、地元と県外のボランティアと共に活動している。
支援額 10 万円

NPO 法人ワンダタイム 中部教区

長野県小布施にある新生病院は、カナダ聖公会ミッションの精神を受け継ぎ、海外医療協力事業をバングラデシュとネパールで実施。コロナ禍で中断されていたが、今年の連休中にバングラデシュに医師 4 名を派遣。多くの人々に治療が行われた。
支援額 10 万円



すこやか会ふくしま 東北教区

震災による東電福島第一原発事故当時、子どもたちが暮らす児童養護施設では除染が行われず、被ばく検査の対応が遅れたため、健康被害リスクが続いている。個々の子どもの放射線の影響を調べる検査結果を記録した「健康手帳」を退所時に手渡し、その後も相談や食糧支援を行っている。

支援額 10 万円



国際子ども学校 ELCC 中部教区

フィリピンから日本に働きに来ている家族の子どもたちが、日本語や日本の習慣を身につけ、就学・就園の準備をするための学校であり、居場所。保護者への支援も行っている。
支援額 20 万円



全国の皆さまから 2022 年度にお献げ頂いた感謝箱献金は約 192 万円でした。お献げ先については第 27(定期)総会後第 1 回会長会において審議され、今年度は 8 団体へ。災害被災者支援積立金(30 万円/3 年間)も承認されました。2023 年度のお献げ先は、各教区婦人会、日聖婦役員会・感謝箱献金事務局より議案提出され、第 2 回会長会で審議いたします。